特集 小学校・新１年生と6年生の関わり

6年生が家で話していること

娘は1年生が登校するようになってから「今日は家族ごっこをしたんだよ!」とか「今日はドロケイをしたんだけど1年生なのにすごく足が速くてさー。」など、帰ってきては楽しそうに話してくれました。「1年生ってどう?」と私が聞くと、「なんでも関いてきて楽しいよ!」と言っていました。もともと小さい子が好きな娘は本当に毎日楽しそうです。先日も女の子の着替えの仕方を教えたらしく、「ほ〜らね、上着を全部脱ぐ前に体操着の両腕を通してこうやると‥あら不思議、下着も見えずに着替えられるでしょう?!」と言ったら「本当だ!すごーい!」と感動していたらしいです。それがまた娘にとっては嬉しかったのでしょう。こうして毎朝のようにいつもより1本早いバスに乗って行くのでした。(Uさん)

1年生の保護者の入学式感想

早いもので子供たちが東小に入学して2ヶ月が経とうとしています。初めての小学校生活にドキドキしていた子供達も毎日元気に登校し、大きいはずの制服やランドセルも随分と様になってきたように思います。初登校の日から上級生の皆さんに教室への誘導、着替えの手伝い、学校探検などとても親切に接してもらい、子供からも毎日のように「今日はお姉さんのお友達が出来たよ。」と報告がありました。その後も校内で会うと声を掛けてくれるよ、と喜んでいます。優しく迎えてもらったおかげで学校にも早く慣れることが出来たのだと感謝しています。これからも立派な上級生の存在を目標にし、憧れながら成長していってほしいと思います。(Uさん)

6年生の先生の裏話

6年生として、1年生のお手伝いをするのは東小の「伝統」です。この伝統を受け継ぎ、今年の6年生も入学式や初登校の日から、積極的に活動を進めています。とくに4月は7時45分の開門に間に合うようにと、本当に早くから準備をしてくれました。「眠くない?無理しなくてもいいよ。」と担任が声をかけると、「大丈夫!1年生がかわいいし、楽しいの。」と返事が返ってきました。みんな1年生のことを自分の弟や妹のように思い、接し、そして楽しんでお手伝いをしてくれました。また、休み時間にはドッジボールや鬼ごっこ、縄跳び、帰りの会での紙芝居や本の読み聞かせなども一生懸命行ってくれました。「1年生に喜んでもらいたい。」「1年生の役に立ちたい。」こうした気持ちが更なる「友愛の心」を育んでいくのでしょう。
(竹内佳子先生)

各校レポート Report

幼稚園

○運動会練習風景について

我が子の張り切りぶりを見ていたら、校庭中がキャーキャー騒がしく、大変なのではないかと思っていました。ところが意外に整然としていて、練習ということがよく分かっている様子。お揃いの体操服なので、体の大きさや動きの俊敏さに成長ぶりが窺えます。男の子はより力強く、女の子はより華麗に、といった具合でしょうか。戻れないけれど、おいでおいでをする先生の腕に、クラス全員が収まってしまいそうな年少さんのかわいさに、昔を思い出しました。それから今年の年中男子パラバルーンは必見です。何れにしても最後の運動会、年長全員リレー の栄光は是非うちのクラスに!!応援もがんばるぞ! (Mさん)

*幼稚園の運動会は、先日20日(土)に小学校校庭にて開催されました。
詳しくは次回以降のレポートにてご紹介いたします。

小学校

○小学校交流クラス割りについて

新学期のスタートとともに、A組〜E組の教室が並ぶ交流クラスの部屋割りとなった、ぴかぴかの新校舎での生活が始まりました。これまでにも、AB組とCDE組のさまざまな交流活動は行われてきましたが、やはり「交流のために校舎と校舎をわざわざ渡って行く」という感は否めませんでした。でも今では休み時間のたびに「やっほー!」っていう感じで気軽に顔をのぞかせ、遊ぶ楽しみができたようです。給食の時間も、「いってきまーす。」「いってらっしゃい。」と、お互いの教室を自由に行き来して一緒に給食をいただいているそうです。「もう少し教室が大きかったら、AB組全員で行ってみんなで一緒に食べられるのになぁ…」というのが、子供の漏らした唯一の小さな不満!というところでしょうか。秋の体育祭では、この生活での交流によってますますチームワークが深まり、例年にも増して楽しく、仲良く、力強く、混合の学年競技を盛り上げてくれるであろうと期待しています。
(Aさん)

中学校

○入学式について

4月7日真新しい北原記念体育館にて中学校入学式が行われました。希望に胸を膨らませた97名の新入生を迎え、式は厳かに進められました。引き続き行われた友愛会による新入生歓迎会では部活動の紹介がありました。ユニホームを身に着けた各部代表の生徒が、拍手あり、笑いありの魅力的なパフォーマンスを披露してくれました。華麗なダンス、見事なバック転、爆笑の漫才(?)・・・。それまで緊張の面持ちだった新入生からも笑顔がこぼれたひと時でした。そして2、3年生手作りの紙吹雪が舞う中、あたたかい拍手に送られ新入生は退場し閉幕となりました。新しい仲間を迎え喜びに包まれた春の日でした。(Iさん)

中学校生命科にて

中学校生命科では、「自分を見つめ直し、自らを高めていく」ことを目的に、友愛や福祉、平和について、授業が行われています。

この生命科の学習の一つとして、今年度から「『職業観の育成』をテーマに後援会を行おう」という後援会有志企画が進んでいます。

具体的な内容は、ご協力いただける保護者の方々と企画して行くことになりますので、まだ決まっていませんが、「仕事って何?」「仕事の実際」「仕事を通して」あたりが題目になるのかと思っています。

子供たちが将来の生活の中で、より多く自己実現していけることを願って、みんなでアシストしていきましょう。たくさんの方のご参加ご協力をお願いします。(Iさん)

高等専修学校

○保護者研修会に参加して

去る5月6日の保護者研修会にて、1年生の保護者が各々の子供の専門教科の体験をしました。我が子は調理科なので、私は調理科の体験で、9月の試験課題の「野菜炒め」を作りました。レシピは先生が用意して下さり、実際の子供たちの班割りで、親も班を組んで行いました。まず、器具を保管場所から探すのに手間取りながら、4人でワイワイ相談・分担しながら進めました。私たちは主婦であるのに、いちょう切りはどうであるとか、中華鍋は洗剤で洗わない等、基本に立ち返って、いつも子供たちを見て下さっている杉山先生の優しいアドバイスで無事完成。試食もし、おいしく、また何より楽しい時が終了しました。

この体験で、いつも子供の行っている事を頭の中だけで考えるのでなく、実際に行う事ができ、本当に良かったです。有り難うございました。(Fさん)

編集委員会(編集スタッフ)

高等専修	塙井 ひろみ	藤平 ゆき	
中学校	泉澤 直子	岩島 ユキ江	
小学校	小林 信代	内山 純子	
幼稚園	飯塚 聡	鎌谷 恵美	
高等専修	齋藤 良		
中学校	鳥原 淳		
小学校	家住 陸士	北川 久一郎	大槻 敬

2006 Vol.1 武蔵野東学園 連合後援会だより

発行:武蔵野東学園連合会だより編集委員会　新29号　平成18年5月25日発行

武蔵野東学園 連合後援会だより

2006 Vol.1

こんにちは!2006年度第1号の「連合後援会だより」をお届けいたします。この「だより」は、各園校を超え、自閉・健常児の区別無く、幼・小・中・高の後援会、むらさき会、各々の情報を一つにまとめて、保護者あてに発行される媒体です。

また、今号から紙面を刷新して発行いたします。紙面大きさも従来B版でお届けしていた紙面を、A3版二つ折りに変更いたしました。

紙面のメインテーマは『連合』。内容も、より一層、保護者として、皆さんと共に学園皆で共有したり、考えていきたいことを取り上げようと思っています。これから宜しくお願いいたします。

新年度連合後援会総会報告

去る4月25日(火)北原記念館スカラーホールにて、各園校及びむらさき会の会長、役員、後援会会員、及び学園側からは理事長以下各園校の校長、教頭職他の出席により、連合後援会総会並びにむらさき会総会が開催されました。
本会では、1.平成17年度の事業報告 2.平成18年度の事業目標 3.各園校会長、五役選出・承認 4.各園校役員の紹介他が行われました。
学園からは、寺田理事長よりご自身の子育ての話を織り交ぜてご挨拶いただきました。
本紙では1.平成17度の事業報告 2.平成18年度の事業目標についてご紹介いたします。

平成17年度 事業報告

【連合後援会】

2月にボストンからのお客様をお招きし、今年は新しい北原記念館でウェルカムパーティーを催し、和やかな交流を持つことができました。編集委員会より、「連合後援会だより」を年3回発行いたしました。

各園校における学園祭の収益金は、全額学園祭に寄付させていただきました。

【幼稚園】

運動会のオープニングで多数のお父様方の積極的な参加により、大変盛り上がりを見せることができました。卒園コンサートには多くのお母様方が参加されました。「明るいあいさつ運動」への参加により近隣の方や来園の保護者の方との和やかな関係作りに努めました。

【小学校】

後援会研修部主催、武蔵野警察署の協力のもと「防犯講習会」を行いました。治安の悪化が懸念されるなか、警察官と役員による護身術の実演などを通して、改めて防犯意識を高めることができました。

【中学校】

昨年同様、学園祭では「お母さんの店」「バザー」「リサイクル・ショップ」を、おやじの会からは「おやじの店」「ゲームコーナー」が出店されました。ビンゴゲームや生徒の店のお手伝いなども加わり、大いに盛り上がりを見せました。

【高等専修学校】

学年毎の保護者親睦会を5月に企画し、学校への理解と保護者の親睦を深めました。学園祭では、生徒が主体となる紫峰祭のなか、バザーへの協力の呼びかけ等を行い、大きな成果を挙げることができました。

【むらさき会】

各園校の後援会活動に全面的に協力しました。5月には、むらさき親子運動会、保護者懇親会、2月には北原記念館の完成に合わせ、むらさき連合保護者新年会を行いました。会員相互の親睦を深め、連帯感を再認識いたしました。むらさきOB会とは年5回の連絡会を持ち、地域ネットワーク活動、バザー出店等を通じ交流を図りました。会報「可能性をひろげて」を年2回編集、発行いたしました。

平成18年度 事業目標の発表

【連合後援会】
1. 創立精神を継承発展させるための活動
2. ボストン東スクールとの交流活動

【幼稚園】
1. 連合後援会事業目標への協力
2. 子どもを中心とした明るく温かい幼稚園づくりの協力
3. 保護者の趣味や特技を生かした活動の推進
4. 地域と和やかな関係づくりへの協力「明るい挨拶運動」への参加

【小学校】
1. 連合後援会事業目標への協力
2. 会員相互の友愛の輪を広げる活動の推進
3. 地域との共生

【中学校】
1. 連合後援会事業目標への協力
2. 行事への積極的な参加と教育活動へのサポート
3. 中高協会支部大会運営等への協力

【高等専修学校】
1. 連合後援会事業目標への協力
2. 学校行事への保護者の積極的な参加と教育への協力
3. 家庭での親と子の対話の充実

【むらさき会】
1. 連合後援会事業目標への協力
2. 「すべての会員の子弟は我が子である」を合言葉に会運営の推進
3. 会員相互の理解と親睦を兼ねた行事の開催
・むらさき連合会親子運動会　5月27日(土)
・むらさき連合会保護者懇親会　5月27日(土)
・むらさき連合会保護者新年会　1月20日(土)
4. 「可能性をひろげて」の編集発行
5. むらさきOB会との連携(地域ネットワーク等)

平成18年度各園校後援会・むらさき会 会長・副会長からのメッセージ

武蔵野東学園 連合後援会だより 2006 Vol.1

幼稚園後援会●会長

吉田 行郷
(よしだ　ゆきさと)

【年齢】　44歳
【血液型】A型
【星座】　山羊座
(A型、山羊座は村上春樹と同じです)

私の幼稚園時代

幼稚園時代は、早生まれということもあって、学年で一番のチビで痩せぎすでした。でも、結構ませていて、**4歳でもう好きな女の子がいました。** 母親によれば、当時の私は足が弱くて、家を出てから幼稚園バスに乗るまでに必ず1回は転んで、いつもその子に涙と鼻水をふいてもらっていたそうです(恥ずかしい・・・)。

後援会の皆さんへ

お陰様で、後援会長としての1年目を、皆さんのご協力とご支援の下、何とか終えることができ、2年目に突入致しました。幼稚園の後援会長をやらせていただいて、子供達の学園生活に関わる中で、「幼稚園時代」というのが、子供達のその後の人生にとって、本当に大事な時期だということを実感しています。

本年度は、2年目ということで慢心せず、かといって屑討らずに、皆さんと一緒に、明るく楽しく、子供達と幼稚園を盛り上げていきたいと思っていますので、どうかよろしくお願い致します。

【好きな言葉】
A Rolling Stone Gathers No Moss
(転がる石には苔が生えない)

この諺の意味(商売替えは損があって益がない)が好きな訳ではありません。単に、この諺を語源にしたロックバンドの「転がる石達」が好きなので紹介させていただきました。先日も、60歳を超えた「転がる石達」の演奏を聴きに東京ドームまで行ってきました。どうせ、たった1回の人生ですので、彼らのように、死ぬまで前向きに転がっていたいものです。

小・中学校後援会●会長

岩崎 充利
(いわさき としみつ)

【年齢】　47歳
【血液型】B型
【星座】　みずがめ座
【好きな言葉】
「長いものには巻かれた振りをする」
〜人間、我を出しすぎず、
時として役者になり演じる事も必要です〜

私の小・中学校時代

小学校時代に花札を覚え
中学校時代に徹夜マージャンを覚え
中学卒業と同時に全てを卒業
(よい子の皆さんは『マネ』をしないで下さい)

後援会の皆さんへ

この3月に、会長として初めて卒園に立ち会った子ども達が、中学を巣立って行きました。

何回も私の拙い挨拶を聞かされた子ども達に申し訳なく思い、このような自己紹介のある度に登場する事に多少の後ろめたさも感じながらも、ただ、ただ子ども達の為にと微力ながら後援会活動に携わる中で、先生方の影の努力、お母様方の活躍ぶり等、それまで知らなかった事を知ることが出来ました。ここ数年はお父様方の様々な活躍で盛り上がってきた事は、とても素らしい活動で嬉しく思っています。この素晴らしい活動の輪を更に広げ、より力強いものとなります様、皆様の積極的な参加ご協力をお願いいたします。

中学校後援会●副会長

青木 久義
(あおき ひさよし)

【年齢】　ぐおじゅうふぁんさいです!
【血液型】猿ビーです。
【星座】　いってえぜです。
【好きな言葉】
「ひとつ拾えば、ひとつだけきれいになる」
これは私の尊敬する、鍵山秀三郎の言葉です。落ちているごみを一つ拾っても変わらないや、と思うより、一つ拾うと、一つきれいになる、と思いましょうという言葉です。鍵山秀三郎はトイレ掃除で有名なイエローハットの創始者です。是非インターネットで検索して見てください。

私の中学校時代

私の中学時代はもうなんと言ってもバンドバンドバンドに明け暮れました。まさにビートルズ全盛時代!とにかく今みたいに認められたバンド時代ではなく、演奏する場所は限られており、マニアックな時代でした。
調弦が合っていようが合っていまいがお構いなし!
(いつも合っていない)
やたらにギターを鳴らしてシャウトする!そんな狂気の時代でした。

後援会の皆さんへ

「お父さん、時間下さい!」

武蔵野東学園はとても魅力に満ちた学園です。この魅力は子供たちに対してはもちろんですが、なんと言っても特徴的なのは、親に対しての魅力だと思います。

学園に対しての後援会は基本的にお母様方が中心になりますが、それと平行してお父さん方が活躍できる場が随所にあることです。

小学校ではコンピュータ教室の活動を中心とした「ENJOY」、中学校では学園祭の「おやじの店」そしてついに今年度高専のオープンスクールで「蕎麦打ち教室」開催。

お子さんが学ぶ学校で、お父さんもお母さんも一緒になって活動する、こんな素晴らしい学校が他にあるでしょうか。

そして最後に、今年度目玉としてお知らせしたいのは、中学校の「生命科授業の協力」です。

「自分の存在の重さを知り(自己存在感)、他の人の重さも感じることのできる」生徒であることを願って設置しているのが「生命科」です。

この授業に対してまさに社会の第一線で働いているお父さん方が講演するのです。

テーマとしては「職業観」で、どういった形式でどういった内容にするのかはこれから検討して行くことになります。発足の段階から色々な職種のお父さん方に参加して頂きたいのです!

お父さんお母さん方、随時ご案内が届くと思いますので、是非いろいろな行事にご参加ください!

高等専修学校後援会・むらさき会●会長

佐野 恭一
(さの きょういち)

【年齢】　2回成人して3年経ちました。
【血液型】几帳面なA型
【星座】　人を刺さないさそり座
【好きな言葉】
有言実行。そして継続。
(昔は無言実行でしたが、最近は宣言して、何事も最後までしつこくあきらめないことにこだわっています。ガンジーのように信念を貫きたいものです。)

私の高校時代

高校時代は硬派の男子校でした。受験は高校入試の時のみで実はあまり勉強をしていません。この時期にのんびりしていたことが、今ごろになってつけがまわって来ています。もしかすると、今のほうがよっぽど勉強しているかもしれません。
というより、会社の方針でいろいろ(特に英語)勉強をさせられているというのが正しい表現かもしれません。
写真をみていただきますとご理解いただけると思いますが、自分では**高校時代イケメン**だと思っていました。いかがでしょうか?一方、かつての**お笑いタレントにも似ている**とも言われていました。さて誰でしょう?
高校時代の思い出としては、1年生のときに大きな病気をして、学校を長期に休んだのですが、担任の先生の粋な計らいで留年せずに進級させていただきました。あのときの先生には今でもとても感謝しています。

後援会の皆さんへ

役員の皆様を中心に、日頃から献身的な後援会活動、ご苦労様です。東学園の先生方や学園の雰囲気が大好きで、それが乗じて昨年からのむらさき会会長に加え、今年から高専の後援会の会長を兼任させていただくことになりました。

皆様のお力を借りて、もっともっと子供たちに良い教育環境つくりのために、学園をバックアップしていきたいと思います。学校や街で私を見かけましたら、気軽にお声をかけてください。よろしくお願いいたします。もうすぐむらさき親子運動会ですが、おやじPowerを発揮して、体脂肪を振り絞って頑張りたいと思います。

むらさき会●副会長

臼井 周平
(うすい　しゅうへい)

【年齢】　37歳
【血液型】O型
【星座】　射手座
【好きな言葉】
初心忘るべからず
(恩師の座右の銘を受け継いでいます)

小学校時代の自分は、こんな感じでした。

小学校時代の自分。野球三昧の日々でした。王貞治のホームラン世界新記録に心を躍らせた世代で、週末は父親の激しいノックを受ける**「巨人の星」モドキ**の生活をしていました。部活は陸上部(⇒中高はバスケ部)で、毎朝2kmのランニング。二重跳びでは全校トップ(⇒1つ目の自慢)。最近二重跳びにチャレンジしている娘に手本を示すべく、GW中に120回の新記録を樹立しました(⇒2つ目の自慢)。ちなみに勉強はいまいちでした(⇒自慢できず⇒体育・図工好き)。

後援会の皆さんへ

むらさき会の立場から、自閉のお子様を持つ「お父様」へのメッセージです。
小学校に入学すると子供達はマラソンなど、日々の積み重ねにより強靭な体力を身につけます。子供と趣味や話題を共有するために、また、ご自身の健康のためにも、ウォーキングやジョギングを始めませんか?

ちなみに、私自身、長男と一緒に走り始めたこの1年間で「10kg」のダイエットに成功しました(⇒最後の自慢⇒今のところリバウンドなし⇒皆さんに披露した以上、何としてでも現状をキープしたい)。身近な方法として、新緑を楽しみつつ「中央公園」や「多摩湖自転車道」を散策したり、ジョギングしたりするのがお勧めです。
「少しでも長生きすること」が自閉児を抱える親としての願いですから。

皆様、むらさき運動会(5・27)はとにかく必見です。理屈抜きで「すごい」ものは「すごい」のです。何が「すごい」か、お知りになりたいですか?
まず初めに、幼稚園児から卒業した社会人まで真剣に競技に参加することです。自閉の子の立派なところは、決して手抜きをせず、常に真剣勝負であることです。会社で奮闘している父様。子供たちの真剣な姿から自らの社会人生活を見つめ直してみませんか。

次に「すごい」こと。先生方も真剣なところです。特にクライマックスのリレーで、期待を背負って走る先生はかっこいいです(とりわけ若い男の先生)。韓流に夢中なお母様。日本男児も捨てたものではありません。

最後に、お父さん、お母さんの表情が活き活きしていることです。とにかく明るく前向きな人ばかりです。生物学上、障害は一定の確率で起こる必然性を有しています。自分にしか育てられない子を授かった「選ばれし親」としての自覚に溢れていることを、是非感じ取ってください。

皆様、5月27日(土)は東小学校まで足をお運びください。お待ちしております。